

グローバル COE 講演会報告書

大学院理学研究科 大須賀 篤弘

研究集会名：グローバル COE 講演会

講演者： Professor Lechosław Latos-Grażyński (University of Wrocław)

演題：“Carbaporphyrinoids: Exploring Metal Ion–Arene Interaction in a Macrocyclic Environment”

場所：京都大学理学研究科6号館301号室

日時：2008年3月18日 16:00–18:00

参加者：化学専攻 大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数：約30名

講演内容：ピロール環4つがメチン炭素を介して結合したポルフィリンの変異体は、母核のポルフィリンでは発現しない興味深い性質を持つことが報告され、近年めざましく発展している。Latos-Grażyński 教授は、ピロール環の一つがベンゼンで置き換わったベンジポルフィリンの鉄錯体を合成し、配位子の違いによる鉄のスピン状態の変化を、核磁気共鳴法によって詳細に検討した。また、ポルフィリン骨格に2つのベンゼン環を挿入したジベンジヘキサフィリンの芳香族性に関して、核磁気共鳴法や吸収スペクトルなどから丁寧に慎重な同定が行われ、その不思議な挙動について議論された。

非常に貴重な興味深い講演であり、また、研究分野の近い学生にとっては非常に刺激的な内容であった。講演後は活発な質疑応答が時間をおして行われ、特に学生からも英語で鋭い質問やアドバイスを求める場面もあり、たいへん充実した内容であった。

